

水産情勢と組合金融

農林中央金庫
水産森林部長 正木 昭

系統金融を担当しており、ます全園機関の者として、現在の水産諸情勢の中で、われわれ漁業関係者は、いかに何を問題にし、どういった壁にぶつかっているのか、を申し上げた方がいい。

まず昨今の水産の諸情勢は、日本のどの漁業、どの地域におきましても、共通の問題がこころ三、四年相

戦後水産業の発展要因

日本の漁業を見てみますと、結論を先に申すと、基本的な根柢のなごりに問題の根があらわれます。

終戦後から今日迄三〇年の歴史をふりかえってみますと、この間は躍進につづ

裏返しになつた発展要因

現在ではこの発展の主要因が、いづれも裏返しに形をみせています。

第一の柱であった世界市場は自由であつた。この原動力は漁業者の努力はもちろんです。

漁業無線は正しく使おう

内地地区漁業無線の正常化

まずA漁協が五〇年一二月はそれ以上のトランシーバーも多くなつてきた。

このような現状のままトランシーバーの使用を続け

内地地区漁業者のトランシーバー使用状況

手帳で便利なトランシーバーは、現在ではほとんど許可状を得ずして利用している。

トランシーバーを使用するに当たっては、免許申請書を電波監

の現実の姿となつていま、この五月には日本も条件付の賛成という方針に委ねられるを得なくなつたわけである。

これは日本の漁船が約四五〇万トントンの賛成を要する。

今後の水産情勢

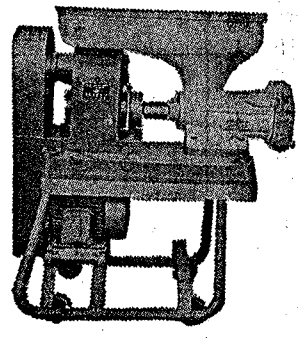
情報があります。今後の石油の値段は毎年毎年じり高くなるというのを前提にしなければなりません。

三番目の魚価はどうでしょう。これは予測が難しい。

海上においてトランシーバーを使用する場合、無線電力を〇・一W以下に制限される。

免許取得したもので、無線電力を〇・一W以下に制限される。

養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(脚一報次第カタログ附呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所
神戸市長田区水笠通5番5号
TEL 代表神戸(078)621-1527

特殊無線技士養成課程 (電話甲) の概要

特殊無線技士養成課程を終了したものは免許を受けることができる。国家試験を受け免許取得することになる。

無線局開設手続

- 海岸局の開設
 - 正規の漁業用無線(ただしS・B・L・S・B)
 - 無線電力(ただし〇・一W)を使用する場合
 - 無線電力を〇・一W以下に制限される
- 船舶局の開設
 - 正規の漁業用無線(ただしS・B・L・S・B)
 - 無線電力(ただし〇・一W)を使用する場合
 - 無線電力を〇・一W以下に制限される

免許取得

合格者試験、特殊無線技士課程修了、特殊無線技士養成課程修了

養成課程の開設

養成課程の開設は、特殊無線技士を必要とする無線局の免許人団体等(漁連等)は単独から(漁連により)日本電波協会が開設する。

受講資格

- 年齢、学歴等、特に制限なし。
- 受講科目と時間数
 - 無線工学 二時間以上
 - 無線電論(電話) 二時間以上
 - 無線電論(無線) 二時間以上
- 試験科目
 - 無線工学 二時間以上
 - 無線電論(電話) 二時間以上
 - 無線電論(無線) 二時間以上
- 試験科目
 - 無線工学 二時間以上
 - 無線電論(電話) 二時間以上
 - 無線電論(無線) 二時間以上

受講費用

- 一、免許(無線局)の申請
- 二、予備免許の付与
- 三、予備免許の付与
- 四、工事落成の届出
- 五、工事落成後の検査
- 六、免許の付与
- 七、無線従事者がいることが条件です。

防ごう海中転落

自らの命は自らで守る

漁船の海中転落事故は海上保安庁の資料によると、減少の傾向をたどっているが、遭難した者の中救助されたのは僅か一〇％であった。これは、はなわには、操縦者も乗客も救助されず、遺体も回収されず、原因も不明なままの事故が少なくない。このため、漁船の海中転落事故は、漁業関係者にとって、常に最大の懸念事項である。このため、漁船の海中転落事故の防止策を、漁業者自身で守る必要がある。以下に、漁船の海中転落事故の防止策を、漁業者自身で守るために、いくつかの項目を挙げてみる。

一、指揮者(船長・漁頭)の行う対策

(1) 乗組員個々の仕事への慣れ具合、体力、健康状態を十分に把握し、各自のベストコンディションを維持させること。

(2) 船内生活では飲酒をいっさい禁止し、乗組員の安全を確保すること。

(3) 乗組員の個人的な悩み、心配事なども注意を払い、心配を軽減すること。

(4) 乗組員に対する安全指導の不徹底が事故の原因となるので、安全指導が十分徹底するように努めること。

(5) 乗組員の経験、その他(1)に於いて作業配置等を考慮すること。

(6) 指揮系統を明らかにし、いかなる場合でも適切に指揮がスピーディーに徹底されるように努めること。

(7) 操縦者の健康状態を定期的に検査し、乗組員の安全を確保すること。

(8) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(9) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(10) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

二、作業に従事する者(乗組員)の行なう対策

(1) 操縦者の指示を厳格に守ること。

(2) 操縦者の健康状態を定期的に検査し、乗組員の安全を確保すること。

(3) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(4) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(5) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(6) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(7) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(8) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(9) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(10) 乗組員の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

三、船舶所有者(株主)の行なう対策

(1) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(2) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(3) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(4) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(5) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(6) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(7) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(8) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(9) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(10) 漁船の安全を確保するために、乗組員の安全指導が十分徹底するように努めること。

(別表2) 漁船の原因別海中転落分類表

昭和45年度海上保安庁調(死亡、行方不明者数)

原因	被害者数	順位
乗組員	59名	1
船舶	7	4
大波	12	8.0
川	9	6.0
知らぬ間に	39	26.0
飲	14	9.3
その	10	6.6
合計	150	100

(別表1) 漁業種別の海中転落による死亡、行方不明者数

昭和45年度海上保安庁調 (単位:人)

漁業種類	被害者数
定置	2
一本釣	37
はなわ	43
刺ま	21
敷	7
機	1
密底曳	37
以西底曳	5
大型底曳	7
運び	3
運搬船及び母船	5
その他	21
合計	189

魚礁の設置場所の選定 I

水試 堺

魚礁とは、漁船の海中転落事故の防止策として、漁業者自身で設置される人工的な岩盤のことである。魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 II

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 III

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 IV

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 V

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 VI

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 VII

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 I

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 II

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 III

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 IV

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

魚礁の設置場所の選定 V

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

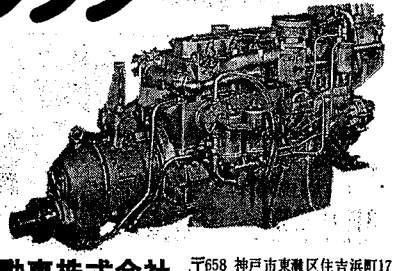
魚礁の設置場所の選定 VI

水試 堺

魚礁の設置場所は、漁船の海中転落事故の発生しやすい場所を選定することが重要である。以下に、魚礁の設置場所の選定方法について述べる。

いすゞ マリンエンジン UM06BB16

高速への挑戦!



特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社 〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL (078) 811-1171

